

2018年1月31日  
東京ガス株式会社

2018年3月期第3四半期決算説明会  
主なQ&A

Q1：ガス販売量見通しの考え方について、12月までの実績のみを織り込んだのか。1月以降についても気温影響等がある程度織り込んでいるのか。

A1：1月以降の気温見通しについては計画気温を前提としているが、一部、大口分野における変化要素や12月が低気温だったことによる1月の販売量への影響を反映している。

Q2：自由化の状況について、電力の獲得件数と最近の獲得ペースについて教えてほしい。ガスについては、脱落の状況をどのように認識しているか。

A2：電力については、1月26日時点の供給中件数は105万6千件。契約獲得ペースは1,000件/日程度。

ガスについては、METIが発表している12月末の関東エリアのスイッチング件数が約15万件となっており、当社が大部分を占める。上期に比べて下期はペースが上がっており、今後競合は更に厳しくなっていくと認識している。

Q3：通期の電力販売量が前回見通し比で減少している要因は何か。

A3：卸販売については、市場価格の動向を見ながら経済合理性を踏まえて販売見通しを立てている。

以上